

# 問題意識

現状分析

政策提言

展望



# 災害大国日本



2018年6月 大阪北部地震

避難者数約5000人



2018年7月 西日本豪雨

約4万人



2018年9月 北海道胆振東部地震 約1万人



2019年8月 九州北部豪雨

約2300人



2019年10月 台風19号

約23万人

# 災害大国日本

避難者数

# 花折斷層地震

マグニチュード 7.5

最大震度 7

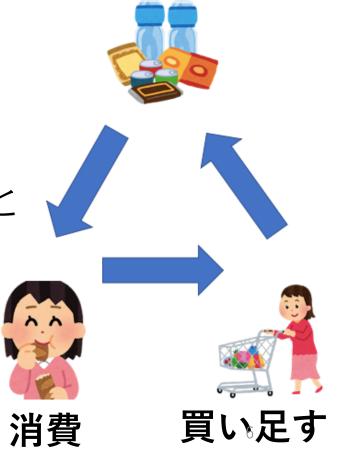
# 災害大国日本 →常に備蓄がある必要性

# 循環備蓄の重要性

# 循環備蓄:

- ①「備蓄」と「消費」を並行して行うこと
- ② 比較的**賞味期限の短い食品**を備蓄すること

ex)ツナ缶、サバ缶、ビスコ、クラッカー



# 公的備蓄と市民備蓄

公的備蓄

・行政が発災から1日分を目途に提供するもの

備蓄

市民備蓄

- ・各家庭で自主的に 3日分以上の備蓄を蓄えること
- · 「災害備蓄の基本」(京都市備蓄計画よ

プレイベント ~ アンケート調査より <sup>~</sup>

Q.循環備蓄をしているか?

いいえ 92.3%

(風間ゼミ2019 アンケート調査 102名対象)

# 市民備蓄の

循環は できていない



# 公的備蓄の循環~京都府~

ヒアリング先

10月11日 京都府危機管理部

10月18日 京都市防災危機管理室

#### アルファ化米を配布・使用

- ・地区の防災訓練
- ・京都サンガの試合会場
- ・小学校給食



# 公的備蓄と市民備蓄の違い

#### 公的備蓄

定期的に非常時以外の 備蓄消費の場を設けることが **可能** 

#### 市民備蓄

個人で非常時以外の 備蓄消費の場を設けることが 難しい

コミュニティの必要性



# 新しい備蓄の形

# 循環型コミュニティ備蓄

備蓄と消費を地域コミュニティ単位で循環させる方法

市民備蓄

賞味期限を忘れてしまう

買いなおすのが面倒くさい

個人で消費の場を設けるのが難しい

# 市民備蓄

賞味期限を共有するから忘れない!

買いなおすのが面倒くさい

個人で消費の場を設けるのが難しい

# 市民備蓄

賞味期限を共有するから忘れない!

地域で一括購入するため負担減!

個人で消費の場を設けるのが難しい

市民備蓄

賞味期限を共有するから忘れない!

地域で一括購入するため負担減!

地域で定期的に消費する場がある!

# ビッグランチ

#### イギリスで実際に行われている大昼食会 地域コミュニティの活性化が実現される





# 循環型コミュニティ備蓄×ビッグランチ

非常食アレンジ料理

食を通じて防災を意識

イギリス発祥のビッグランチの利点 大人数で楽しく食事

地域住民と顔を合わせる コミュニティを意識する

災害に強いまちづくり

X



## プレイベント開催の目的

目的: ビッグランチ×非常食の効果が

実際に得られるかを確かめるため

美味しさ

楽しさ

地域のつながりが強まる

# フィールドワーク

# 洋食とワインのお店 土筆苑 IN 兵庫県西宮市 大谷 隆史シェフ

[非常食アレンジメント]

before

after







現状分析

プレイベント

展望

# プレイベント

12月4日 **室町小学校** 

学生22名 + 地域住民25名 = 47名

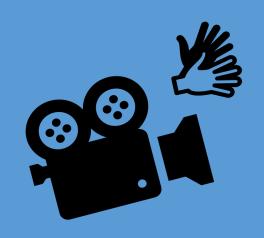


102名

12月6日 **特別養護老人ホーム寿幸苑** 地域住民**55名** 



# プレイベント



日本テレビ "The social" で紹介され 来春3月 内閣官房HPに掲載予定

17**別養護老人ホーム寿辛宛** 地域住民**55名** 



# 社会的意義





#### **0**テレNEWS24



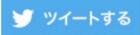
0元 24

非常食がフランス料理に!

アレンジによる



に着目









2019年12月11日 13:36



~社会的背景~

非常食を美味しくないまま食べるうちに 買わなくなってしまった

(日本テレビthe social より)

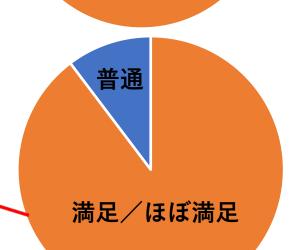
# BIG LUNGH

# アンケート結果(1)



84.6%

89.7%



満足/ほぼ満足

普通



楽しい





コミュニティの活性化

Q.このイベントで 地域のつながりが深まったと思うか?

はい 82.3%

### ビッグランチの効果

プレイベント

証明された! 美味しさ 楽しさ 地域のつながりが強まる

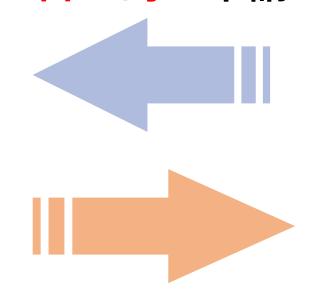


# 誘導策:モデル地区認定制度

モデル地区認定制度: 自主的に循環型コミュニティ備蓄の実施を申し出た 地区に対して市が支援する制度

① 自主的に申請





コミュニティ

② 認定・支援

# 住民主体で行う循環型コミュニティ備蓄

①備蓄内容・場所 話し合う

⑤ビッグランチ 開催

②購入

④開催場所・頻度、運営方式 話し合う

③備蓄

現状分析

政策提言

展望

# 市の支援

# モデル地区に申請するコミュニティの増加のため行う。



初期費用

最初の備蓄にかける費用 を支援



備蓄場所の提供

全住民から近い場所に 保管するための支援

# 市の支援





ホームページで更新共有



ホームページ作成



# 全国へ

# 循環型コミュニティ備蓄を全国へ



備蓄

防災意識の向上



消費

地域コミュニティ活性化



安心・安全で住みやすい日本へ

# 参考文献

- 生田長人(2010.3.31)「防災と法の仕組み」71-72、東信堂
- 京都市総合企画局市長公室広報担当(2019)「平成30年度第2回市政総合アンケート報告書 災害に備えた家庭での備蓄について」(2019年10月29日閲覧. https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/cmsfiles/contents/0000247/247415/hokokusyo.pdf)
- Eden Project 「The Big Impact」(2019年10月29日閲覧.
  https://www.edenprojectcommunities.com/the-big-impact)
- 京都市(2019)「京都市備蓄計画」(2019年10月28日閲覧, http://www.bousai-kyoto-city.jp/bousai/pdf/bitiku\_plan.pdf)
- 東京都環境局(2018)「防災備蓄食品の有効利用について」(2019年10月27日閲覧. http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/resource/recycle/tokyo\_torikumi/torikumi/cat.html)